



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月8日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ
コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 宇治田 明史

TEL 045-945-8800

四半期報告書提出予定日 平成28年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	41,722	3.0	6,610	48.6	6,883	29.5	4,663	17.3
27年5月期第3四半期	40,518	7.0	4,447	33.3	5,315	54.2	3,975	76.2

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 2,815百万円 (△65.8%) 27年5月期第3四半期 8,243百万円 (59.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	103.61	—
27年5月期第3四半期	88.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第3四半期	108,969	89,159	81.7
27年5月期	105,313	87,410	82.9

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 89,026百万円 27年5月期 87,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	10.00	—	13.00	23.00
28年5月期	—	10.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,600	3.3	6,000	25.5	6,400	10.2	4,200	9.9	93.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年5月期3Q	48,410,750 株	27年5月期	48,410,750 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年5月期3Q	3,407,704 株	27年5月期	3,406,242 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期3Q	45,003,842 株	27年5月期3Q	45,005,888 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際に業績は、今後様々な要因によって予測数値に異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
28年5月期 第3四半期	41,722	6,610	6,883	4,663	103.61
27年5月期 第3四半期	40,518	4,447	5,315	3,975	88.34
前年同期比	1,204	2,163	1,568	687	15.27
増減率	3.0%	48.6%	29.5%	17.3%	—

当第3四半期連結累計期間（平成27年6月1日から平成28年2月29日まで）における世界経済は、米国は底堅い個人消費、住宅投資などを背景に、景気回復基調が持続しており、また欧州経済においても、個人消費などが堅調に推移するなど、緩やかな回復が見られます。新興国経済は、インドでは高い成長率が続いていますが、中国経済は減速傾向にあり、ブラジルにおいても深刻な景気後退が長期化しております。わが国経済は、個人消費や公共投資、景気の減速が続くアジア向け輸出などが減少となり、マイナス成長に転じるなど景気の足取りは重い状況にあります。

当種苗業界は、依然として国内需要は頭打ちの状況が続いておりますが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社グループにおいては、国内卸売事業は野菜種子、苗木は順調に推移したものの、資材が大きく落ち込んだことから前年同期比減収となりました。海外卸売事業につきましては、野菜種子、花種子の売上がともに好調で前年同期比大幅増収となりました。一方、小売事業は前期より不採算事業の見直しなどを行っていることもあり前年同期比減収となりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は417億22百万円（前年同期比12億4百万円、3.0%増）となりました。営業利益は、野菜種子の売上増加による売上総利益の改善が貢献し、66億10百万円（前年同期比21億63百万円、48.6%増）となりました。また経常利益は、為替差損が1億34百万円（前年同期は為替差益が3億85百万円）発生したため、68億83百万円（前年同期比15億68百万円、29.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、子会社における税金費用が増えたことから、46億63百万円（前年同期比6億87百万円、17.3%増）と前年同期比増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替レートは、次のとおりです。なお、第1四半期の連結対象期間は4-6月、第2四半期の連結対象期間は7-9月、第3四半期の連結対象期間は10-12月です。

	当第1四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
米ドル	122.48円 (101.30円)	119.97円 (109.45円)	120.54円 (120.53円)
ユーロ	137.20円 (138.21円)	134.94円 (138.85円)	131.67円 (146.54円)

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

①国内卸売事業

国内卸売事業は、野菜種子、苗木が売上を伸ばしたものの、花種子、資材が減収となったことから、前年同期比減収となりました。野菜種子ではブロッコリー、トマト、レタスが好調に推移したことから、前年同期比増収となりました。花種子については、ストック、花壇・苗物品種が増収となったものの、前期に市況低迷の影響により作付け減少となったパンジーが伸び悩んだことから、前年同期比減収となりました。資材は前期の雪害による農業用ハウス復興需要の反動減及び暖冬による保温資材などの需要減から、前年同期比減収となりました。苗木につきましては、トマトセル苗が順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比97百万円（同0.8%）減の122億89百万円となりました。一方、営業利益は、収益性の高い野菜の売上が増加したことや、営業費用の減少などにより、前年同期比1億円（同2.2%）増の47億10百万円となりました。

②海外卸売事業

それぞれの地域の状況をみますと、アジア向け輸出は、ニンジン、ブロッコリー、トルコギキョウなどが大きく伸びたことから前年同期比大幅な増収となりました。北米につきましては、ブロッコリー、ピーツ、メロンなどの野菜種子が好調に推移したことから前年同期比増収となりました。欧州および南米につきましては、現地通貨ベースにおいては、野菜種子、花種子ともに好調に推移し、前年同期比増収でしたが、為替の影響により、円ベースでは前年同期比減収となりました。

品目別では、野菜種子はブロッコリー、ニンジン、ピーツなどが売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。花種子につきましては、トルコギキョウやヒマワリの売上が伸びたことなどから、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比12億88百万円（同5.8%）増の234億6百万円となり、営業利益は、前年同期比21億70百万円（同38.8%）増の77億68百万円になりました。

③小売事業

ホームガーデン分野は、前期から引き続き、不採算商品の取引削減に取り組んだ結果、売上高は前年同期比減収となりました。一方、利益面では、業務コストなどの圧縮が功を奏し、前年同期から改善いたしました。

通信販売分野では、リニューアルしたサカタ友の会の新制度への会員切り替えは順調に推移しておりますが、過渡期にあたり、会費収入などが伸び悩み、前年同期比減収となりました。

ガーデンセンターでは、秋の園芸シーズンが好天に恵まれたことなどから、店頭販売、インターネット販売ともに好調に推移し、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1億72百万円（同3.0%）減の54億89百万円となりました。一方、営業損益は、営業費用が減少したことにより9百万円改善し、4億36百万円の損失（前年同期は4億46百万円の営業損失）となりました。

④その他事業

造園緑花分野は、大型工事が完工となり、前年同期比増収となりました。これらの結果、売上高は、前年同期比1億85百万円（同52.9%）増の5億36百万円となりました。営業損失は59百万円改善し、24百万円の損失（前年同期は84百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産（百万円）	105,313	108,969	3,656
純資産（百万円）	87,410	89,159	1,749
自己資本比率（%）	82.9%	81.7%	—
1株当たり純資産（円）	1,939.37	1,978.24	38.87
借入金の残高（百万円）	3,778	5,146	1,368

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ36億56百万円増加し、1,089億69百万円となりました。これは現金及び預金が19億55百万円、たな卸資産が36億77百万円増加し、受取手形及び売掛金が31億47百万円、投資有価証券が10億92百万円減少したことなどによるものです。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億6百万円増加し、198億10百万円となりました。これは長短借入金金が13億68百万円、未払法人税等が7億84百万円増加し、その他流動負債が1億68百万円、役員退職慰労引当金が2億68百万円減少したことなどによるものです。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億49百万円増加し、891億59百万円となりました。これは利益剰余金が36億27百万円増加し、その他有価証券評価差額金が7億11百万円、為替換算調整勘定が11億25百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までは、海外卸売事業の好調な売上や国内をはじめとした各地域の営業費用の減少を背景に、増収増益で推移しておりますが、通期予想につきましては、今年に入ってから急激な円高進行や、後ろ倒しとなっていた経費計上が第4四半期に発生する見込みであることなどから、平成28年1月12日に公表しました連結業績予想通り、売上高は586億円、営業利益60億円、経常利益64億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円となる見込みです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が29百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微なため、記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,212	19,168
受取手形及び売掛金	15,653	12,505
有価証券	100	150
商品及び製品	21,934	25,492
仕掛品	2,080	1,952
原材料及び貯蔵品	2,173	2,212
未成工事支出金	59	267
繰延税金資産	2,062	2,124
その他	1,924	3,173
貸倒引当金	△476	△449
流動資産合計	62,724	66,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,645	28,663
減価償却累計額	△18,390	△18,719
建物及び構築物(純額)	10,254	9,944
機械装置及び運搬具	11,517	11,768
減価償却累計額	△9,091	△9,285
機械装置及び運搬具(純額)	2,426	2,483
土地	13,788	14,045
建設仮勘定	383	1,108
その他	3,079	3,123
減価償却累計額	△2,492	△2,509
その他(純額)	586	614
有形固定資産合計	27,439	28,195
無形固定資産	819	691
投資その他の資産		
投資有価証券	13,589	12,497
長期貸付金	111	95
繰延税金資産	116	185
その他	658	848
貸倒引当金	△145	△141
投資その他の資産合計	14,329	13,485
固定資産合計	42,589	42,372
資産合計	105,313	108,969

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,763	3,856
短期借入金	1,661	3,145
未払法人税等	995	1,779
繰延税金負債	—	13
その他	3,842	3,674
流動負債合計	10,262	12,468
固定負債		
長期借入金	2,117	2,001
繰延税金負債	1,824	1,872
退職給付に係る負債	2,317	2,322
役員退職慰労引当金	588	320
その他	793	824
固定負債合計	7,641	7,341
負債合計	17,903	19,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,793
利益剰余金	62,799	66,427
自己株式	△4,473	△4,476
株主資本合計	82,649	86,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,066	4,355
為替換算調整勘定	△493	△1,619
退職給付に係る調整累計額	58	47
その他の包括利益累計額合計	4,630	2,782
非支配株主持分	129	132
純資産合計	87,410	89,159
負債純資産合計	105,313	108,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	40,518	41,722
売上原価	18,371	17,564
売上総利益	22,146	24,158
販売費及び一般管理費	17,699	17,547
営業利益	4,447	6,610
営業外収益		
受取利息	120	108
受取配当金	193	202
受取賃貸料	156	160
負ののれん償却額	0	—
為替差益	385	—
その他	113	132
営業外収益合計	968	603
営業外費用		
支払利息	50	60
為替差損	—	134
その他	49	134
営業外費用合計	99	330
経常利益	5,315	6,883
特別利益		
固定資産売却益	296	—
投資有価証券売却益	71	13
特別利益合計	368	13
特別損失		
減損損失	60	64
特別損失合計	60	64
税金等調整前四半期純利益	5,623	6,832
法人税、住民税及び事業税	1,614	1,988
法人税等調整額	25	166
法人税等合計	1,639	2,155
四半期純利益	3,983	4,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,975	4,663

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	3,983	4,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,877	△711
為替換算調整勘定	2,377	△1,138
退職給付に係る調整額	3	△11
その他の包括利益合計	4,259	△1,861
四半期包括利益	8,243	2,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,231	2,814
非支配株主に係る四半期包括利益	12	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,387	22,118	5,661	40,167	351	40,518	-	40,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	578	1,536	0	2,115	45	2,161	△2,161	-
計	12,965	23,655	5,661	42,282	396	42,679	△2,161	40,518
セグメント利益又は損失(△)	4,610	5,597	△446	9,762	△84	9,677	△5,230	4,447

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,230百万円には、セグメント間取引消去14百万円、棚卸資産の調整額27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,271百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,289	23,406	5,489	41,185	536	41,722	-	41,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	583	1,974	0	2,558	27	2,585	△2,585	-
計	12,873	25,381	5,489	43,743	564	44,308	△2,585	41,722
セグメント利益又は損失(△)	4,710	7,768	△436	12,042	△24	12,017	△5,407	6,610

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,407百万円には、セグメント間取引消去△309百万円、棚卸資産の調整額194百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。